

事務事業名	防火水槽整備事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	危機管理グループ	課長名	齊藤雅孝
施策名	(13) 消防・防災対策の推進	担当者名	坂田裕二	電話番号 (内線)	0854-40-1027 3544
基本事業名	<037>消防防災施設の整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 415 015 115 014	防火水槽整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	自治会から要望のあった箇所に耐震性貯水槽の設置を行っている。 平成18年度から事務の一部(工事関係)を建設部建設事業課で行っている。 工事施工自治会から工事完了後に地元分担金1/10を納入してもらっている。	阪神大震災以後、耐震性貯水槽の整備が進められている。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	工事費(5,422千円)	事業費内訳	国庫支出金 千円 4,726	21年度(決算)	4,950	22年度(決算)	4,725	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
			県支出金 千円								
			地方債 千円 4,700		4,900	100	10,400	9,400			
			その他 千円 1,048		1,099	542	550	1,050			
			一般財源 千円 26		50	54	50	150			
			事業費計(A) 千円 10,500		10,999	5,421	11,000	10,600			
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	地域要望の受付、建設部職員・地元関係者との現地確認、事業完了後の業者への支払い、地元分担金の納入事務	人件費	正規職員従事人数 人 2	2	3	3					
			延べ業務時間 時間 197	208	289						
			人件費計(B) 千円 751	809	1,139	0	0				
			トータルコスト(A)+(B) 千円 11,251	11,808	6,560	11,000	10,600				

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	1基(大東町)	ア 耐震性貯水槽設置数	基	2	2	1	1	2	2
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	1基(木次町) 予定	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
	ア 市民	人	42402	41917	41159	41032	40650	40323	
	イ								
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	防火施設の整備を推進し、適正に消防防災施設を利用できるようにする。	ア 消防水利の数	箇所	562	564	565	566	568	
	イ								
	ウ								
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	生命・財産を火災・災害から守る。	ア 年間火災発生件数(暦年)	件	18	10	19	8	8	8
		イ 災害による年間人的被害者数(暦年)	人	0	0	0	0	0	0

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
近年は、耐震性貯水槽を毎年2基ずつ整備してきている。	地元分担金(事業費の10% 1基当たり約550千円)の負担が大きいとのことから、平成24年度から地元分担金を事業費の5%に条例改正した。	山間部を中心に、耐震性貯水槽の設置要望は毎年寄せられている。

事務事業名	防火水槽整備事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 自治会で、緊急時に対応してもらおうことができるようになる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 消防施設整備は、行政が関与すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 市内全域を対象としているので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 地元分担金の率を引き差下げたことにより、設置要望が増える可能性がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 他の消防水利が活用できない場合、初期消火に支障が出る。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 消防水利全体として考えれば、耐震性貯水槽に限らず、防火水槽・消火栓も含めて総合的に整備することができる。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 自治会から設置要望がある以上は、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 必要最小限度の事務である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 全自治会を対象としているので公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業費が高いために、年間の設置数が限られる。 建物火災が発生した自治会からは、設置要望がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
毎年2基設置しているが、設置要望が出てもすぐに設置することができない。																							